全学年　教科　社会科

生徒個人パソコンを活用した学年に応じた段階的な調べ学習の指導

1　単元名

第１学年「信長・秀吉・家康の政治」

第２学年「北海道地方の産業」

第３学年「地球世界とわたしたち」

2　活用場面

近世の日本・日本の諸地域の地域的特色・私たちと国際社会の諸課題について、資料を様々な手段で適切に選択し、活用する。

3　活用のポイント

○１学年：「人物」調査の対象が明確

○２学年：「産業」農・林・水産業等の統計を活用した調査

○３学年：「卒業レポート」 課題設定し、問題解決学習

１年：調査の対象が「人物」、自分の言葉（絵）で表現

4　活用のポイント

（１）資料を自分の言葉（絵）で表現

○インターネットの莫大な情報から適切な資料を選択し、活用させるために、教科書や資料集に記述されたキーワードをもとにして検索し、ノートにメモをとり、自分の言葉で表現し、まとめさせる。

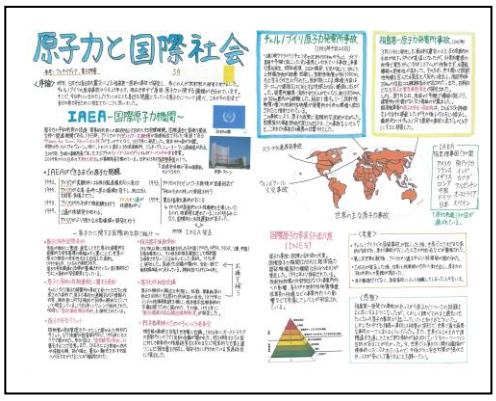
１学年：イラスト等で説明。（上記の作品で４時間）

２学年：で統計を活用し、北海道産の農・水産資源で何の料理を作ることができるか考えて記述。（１～２時間）

３学年：国際社会に関する資料の活用を通し、自分にできることは何かを考えさせる。（図書館の資料活用を含み８時間）

（　　）計画時間

（２）学習計画の記録をつける



○学年が上がるにつれて資料の選択や活用に時間をかけるため、学習計画を立て、自分の進度を確認しながら進めさせる

問題解決学習を行う際の学習のペースをつくるため、進度表（学習の記録表）を作成し、１時間ごとの学習内容と自己評価を行い振り返り、次時の学習目標を確認させる。

○「序論・本論・結論」を意識させた書き方の指導と共に、「自分には何ができるか」を考えさせ、学習を深め、今後の生き方に結びつける。

○どの資料を活用したか、web ページ名、ＵＲＬ、アクセス年月日を記入させ、レポート作成者としての責任を持たせる。

5　成果と課題

○学年が上がるにつれ、適切な資料を選択・活用し、自分の言葉でまとめられるようになってきている。

○資料活用を含めアンケート機能、ＤＶＤの視聴でも活用しているが、より効果的な活用を試みたい。